

ベトナムでのミニロボコン優勝チームが本巢市長を表敬訪問

2026年4月27日に、ベトナムにあるフエ工業短期大学（以下、フエIC）で開催されたミニロボコンでの優勝を報告するため、本巢市長を表敬訪問しました。

ミニロボコンは、学生たちが課題を解決する小型ロボットを制作し、その動きや工夫を競う大会です。今回は、2026年3月27日に行われ、フエICがベトナムの短期大学トップ5に認定されたことを記念する行事とあわせて開催されました。

大会には、周辺の高校チームや現地の高専コースの学生チームが参加しました。日本からは、鳥羽商船高専も出場し、岐阜高専からは、学生有志によるチームと、ロボット研究会のクラブチームが参加しました。

結果は、学生有志チームは4位、クラブチームは、予選と本選のすべての試合に勝ち、優勝しました。

表敬訪問では、大会に参加した、学生有志によるチームと、ロボット研究会のクラブチームの学生がロボットを持って本巢市役所を訪れました。学生たちは、大会の様子や結果を市長に報告しました。その後、市長の前でロボットの動きを実演しました。学生からは、ロボットを海外へ運び、現地で調整することの難しさや、これまでの留学生との交流についても話がありました。

本巢市長は、「高専のロボコンは有名ですが、ロボットが実際に動く様子を間近で見るとは初めてでした。とても精巧で、ものづくりへの強い思いが伝わってきました。これからもさまざまなことに挑戦してください」と、学生たちを温かく励ましました。

フエICと岐阜高専は、これまでに現地の高専コースの教育内容づくりなどで協力してきました。そのため、両校は深い信頼関係を築いています。現在は、研究を目的とした学生の相互留学や、岐阜高専4年生の研修旅行の受け入れなど、交流がさらに広がっています。

ミニロボコンの開催には、岐阜高専のほか、鶴岡高専や宇部高専も協力しています。2027年3月も大会が実施される予定です。岐阜高専は、今後もベトナムの高専コースを支援し、フエICとの連携を進めていきます。学生たちが異なる文化を理解し、世界で活躍できる力を身につけられるよう、教育活動を充実させていく考えです。

ミニロボコンでの学生たちの大会の成果については、本校ホームページ内「ニュース」にて紹介しています。

【フエIC ミニロボコンで岐阜高専ロボ研チームが優勝】

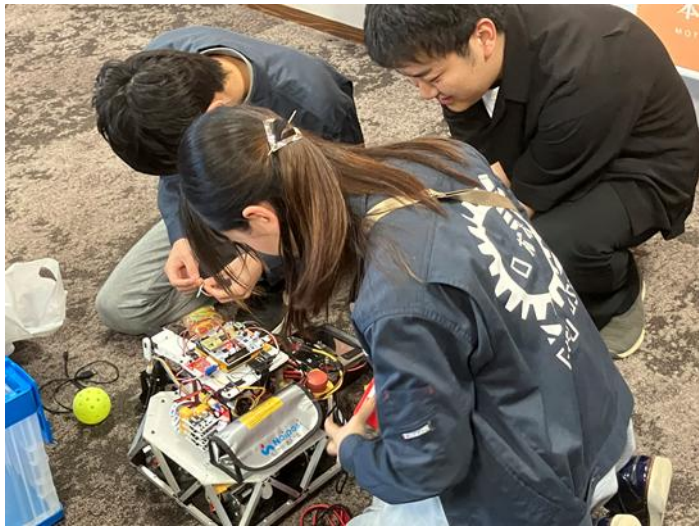
[フエIC ミニロボコンで岐阜高専ロボ研チームが優勝 | ニュース | 岐阜工業高等専門学校](#)



集合写真

(上段：左から田島（電気情報工学科教員）、1Y 奥村魁斗、5M 田添想人、3D 佐藤暖斗、5D 尾崎弘崇、5D 近松拓矢、本巣市長 藤原 勉

下段：左から岸田（機械工学科教員）、5D 森颯大、5D 熊谷拓海、3D 中里百佑)



市長室でロボットの準備を進める学生たち

(左から 3D 佐藤暖斗、3D 中里百佑、5D 近松拓矢)